

第3章 調査室員の研究教育実績

(1) 端野晋平 准教授

a. 論文

端野晋平、近年の弥生時代開始期墓制論の検討、古文化談叢 74、95-129、2015 年 8 月

端野晋平、考古学における気候変動論の検討—日本列島・朝鮮半島の水稲農耕開始前後を対象として
一、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要 2、25-36、2016 年 3 月

端野晋平・米元史織、常三島遺跡の近世火葬墓、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要 2、
37-51、2016 年 3 月

端野晋平、水稲農耕開始前後の日本列島・韓半島間交流、石堂論叢 64、33-63、2016 年 3 月

b. 研究発表

端野晋平、弥生時代開始期墓制論の諸問題、考古フォーラム蔵本 5 月例会、徳島大学埋蔵文化財調査
室、2015 年 5 月 29 日

端野晋平、水稲農耕開始前後の日本列島・韓半島間交流、石堂学術院第 10 回国際学術大会「東アジ
ア地域社会の知識情報交流と流通」、韓国・東亜大学校富民キャンパス総合講義棟 BC-0115、
2015 年 11 月 27 日

端野晋平、常三島遺跡第 3・5 次調査の近世火葬墓、考古フォーラム蔵本 2 月例会、徳島大学埋蔵文
化財調査室、2016 年 2 月 26 日

三阪一徳・脇山佳奈・端野晋平、庄・蔵本遺跡における弥生時代前期水田の調査成果、考古フォー
ム蔵本 2 月例会、徳島大学埋蔵文化財調査室、2016 年 2 月 26 日

c. 報告書

端野晋平、石井地区生物資源産業学部豚舎新営に伴う試掘調査、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調
査室紀要 2、73-77、2016 年 3 月

端野晋平、第 24 次調査（藤井節郎記念医科学センター新営地点）、庄・蔵本遺跡 2、国立大学法人徳
島大学埋蔵文化財調査室、徳島、pp. 13-37、2016 年 3 月

d. 外部資金

科研費基盤研究（C）「縄文／弥生移行期における農耕の実態解明に関する研究」（研究課題番号：
26370897）（研究代表者：中村豊、研究分担者：中沢道彦・端野晋平・山城孝）2014 年 4 月
～2017 年 3 月

科研費若手研究（B）「集落分析からみた朝鮮半島南部無文土器社会の環境適応過程の研究」（研究課
題番号：15K16871）（研究代表者：端野晋平）2015 年 4 月～2019 年 3 月

韓昌祐・哲文化財団研究助成「集落分析による韓半島から日本列島への水稲農耕伝播機構の解明」
2015 年 4 月～12 月

稲盛財団研究助成「朝鮮無文土器人は環境に対していかにして適応したのか？－集落分析による水稻
農耕伝播メカニズムの解明－」2015 年 4 月～2016 年 3 月

e. 授業

東アジア考古学概論Ⅰ（全学共通教育）

埋もれた文化遺産Ⅰ（全学共通教育）

東アジア考古学概論Ⅱ（全学共通教育）

埋もれた文化遺産Ⅱ（全学共通教育）

徳島大学埋蔵文化財調査室のご紹介（韓国・東亜大学校考古美術史学科・企画セミナー）、2015 年 11
月 26 日

f. その他

端野晋平、平成 27 年度徳島大学埋蔵文化財調査室ミニ展示「庄・蔵本遺跡の弥生木製品」展示解説、
徳島大学埋蔵文化財調査室、2015 年 11 月 19 日、徳島大学附属図書館資料展示室

端野晋平、新蔵遺跡解説板、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、国立大学法人徳島大学新蔵キャンパス・大学本部、2015 年 12 月 22 日

端野晋平、出土資料の整理・公開・活用、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要 2、81-82、
2016 年 3 月

端野晋平、調査室員の研究教育実績、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要 2、83-85、2016
年 3 月

(2) 三阪一徳 助教

a. 研究発表

Misaka, K. Beginning of Agriculture and Immigrants from the Korean Peninsula in Prehistoric Japan. The 80th annual meeting of the society for American Archaeology, California. p.700. April 2015.

三阪一徳、東北アジア稲作農耕伝播期における土器製作変化の要因、考古フォーラム蔵本 8 月例会、
徳島大学、2015 年 8 月

三阪一徳、遼東半島先史時代における土器製作技術、科研費基盤研究（B）「東北アジア農耕伝播過程
の植物考古学分析による実証的研究」2015 年度成果報告会、九州大学、2015 年 9 月

三阪一徳、遼東半島文家屯遺跡・王家村遺跡の土器製作技術、第 70 回日本中国考古学会九州部会、
九州大学、2016 年 2 月

三阪一徳・脇山佳奈・端野晋平、庄・蔵本遺跡における弥生時代前期水田の調査成果、考古フォー
ム蔵本 2 月例会、徳島大学、2016 年 2 月

b. 報告書

三阪一徳、地理的・歴史的環境と既往の調査、庄・蔵本遺跡 2、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、

徳島、pp. 1-11、2016年3月

三阪一徳、第25次調査（附属図書館蔵本分館増築Ⅱ期地点）、庄・蔵本遺跡2、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、徳島、pp. 39-46、2016年3月

三阪一徳、第28次調査（外来診療棟新営地点）、庄・蔵本遺跡2、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、徳島、pp. 65-95、2016年3月

三阪一徳、総括、庄・蔵本遺跡2、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、徳島、pp. 129-134、2016年3月

三阪一徳、常三島遺跡地域創生・国際センター新営に伴う試掘調査、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要2、63-72、2016年3月

c. 外部資金

科研費基盤研究（B）「東北アジア農耕伝播過程の植物考古学分析による実証的研究」（15H03266）（研究代表者：宮本一夫、研究分担者：宇田津徹朗・小畑弘己・上條信彦・田中克典・三阪一徳）
2015年4月～2019年3月

d. 授業

文化史Ⅰ（岡山理科大学・非常勤講師）、2015年10月24・25、11月28・29日（集中講義）

e. その他

三阪一徳、外国考古学研究の動向：朝鮮半島、日本考古学年報66、67-73、2015年5月

Misaka, K. Korean Peninsula. Japanese Journal of Archaeology 3(1), 67-68. September 2015.

三阪一徳、庄・蔵本遺跡弥生時代の米・雑穀づくりと食生活、徳島大学埋蔵文化財調査室ニュースレター2、1-4、2015年10月

三阪一徳、朝鮮半島南部における青銅器時代開始過程に関する研究：遼東地域からの影響を対象に、高梨学術奨励基金年報2014、173-180、2015年11月

(3) 脇山佳奈 特任助教

a. 論文

脇山佳奈、重圀文鏡の画期と意義、広島大学大学院文学研究科考古学研究室紀要7、13-37、2015年7月

脇山佳奈、南庄遺跡出土素文鏡について、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要2、53-60、2016年3月

b. 研究発表

脇山佳奈、仿製鏡からみた徳島、考古フォーラム蔵本4月例会、徳島大学埋蔵文化財調査室、2015年4月

脇山佳奈、重圀文鏡の編年と画期、2015年度中国四国歴史学地理学協会考古学部会、広島大学、2015年7月

脇山佳奈、珠文鏡の製作方法に関する検討、第9回アジア鑄造技術史学会、中部大学、pp. 37-39、
2015年8月

三阪一徳・脇山佳奈・端野晋平、庄・蔵本遺跡における弥生時代前期水田の調査成果、考古フォーラム蔵本2月例会、徳島大学埋蔵文化財調査室、2016年2月

c. 報告書

脇山佳奈、第26次調査（大塚講堂改修地点）、庄・蔵本遺跡2、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、徳島、pp. 47-64、2016年3月

脇山佳奈、第29次調査（学生支援センター改修地点）、庄・蔵本遺跡2、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室、徳島、pp. 97-128、2016年3月

脇山佳奈、立会調査の概要、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要2、78-80、2016年3月

d. その他

王瑋（脇山佳奈・訳）、中国青銅器分鑄工芸中的鑄・焊・鋤、第9回アジア鑄造技術史学会、中部大学、p. 73、2015年8月

脇山佳奈、論文展望、庄・蔵本遺跡出土銅鐸破片の意義、季刊考古学132、107、2015年8月

脇山佳奈、弥生時代青銅器からみる庄・蔵本遺跡、徳島大学埋蔵文化財調査室ニュースレター3、2016年3月

脇山佳奈、業務・活動報告のまとめ、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要2、86、2016年3月

（端野晋平）